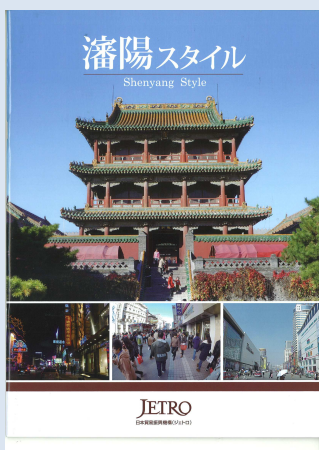


瀋陽駐在員事務所

瀋陽スタイル



瀋陽スタイル

“やはり瀋陽が東北3省のハブ都市・・・東北3省全体のけん引役として、瀋陽の重要性はさらに高まることが予想される”これはジェトロ大連事務所様が制作した「瀋陽スタイル」という冊子の結びの一文です。同スタイルシリーズは、中国では北京、広州、成都などの各都市版が制作されていますが、中国東北3省の都市の中では瀋陽が唯一制作されました。第1章「瀋陽の概況」、第2章「盛り上がる瀋陽の消費市場」、第3章「瀋陽市民の衣食住」、第4章「瀋陽のこれから」で構成され、瀋陽の歴史、データでみる瀋陽の概況、インフラ整備状況、日本企業の動向、データでみる瀋陽の消費力、データでみる瀋陽の富裕層、瀋陽の主要商圏の概況、瀋陽における投資コスト、瀋陽市民の暮らしぶり等々を様々な角度から調査分析しており、非常に分かり易く纏められています。人口818万人の瀋陽市、周辺都市含めた人口2,500万人の巨大なマーケットを擁する瀋陽経済区、瀋陽市場開拓の参考資料として一読の価値があります。「よし！瀋陽を見てみよう！」と思われましたら、お気軽に道銀本支店にご相談ください。現地駐在員事務所が全力でサポート致します。

「瀋陽スタイル」<http://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/reports/07001302>

山田 光紀

(財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室

信号無視の歩行者に罰金



赤信号を渡る歩行者

北京では、本年5月6日より、信号を無視して道路を渡った歩行者に罰金を科すという制度がスタートしました。中国は車が圧倒的に優先で、歩行者は車と車に隙間があれば渡るという習慣になっているため、事故と渋滞が多発しており、この問題を解決するためというのが背景にあるようです。罰金は、歩行者が10元（約160円）、自転車などの非自動車は20元（約320円）で、交差点に配備している警察官によってその場で徴収されます。しかし、罰金を科せられる対象は、「先陣を切って渡った人が一番悪い」という考えから、赤信号を最初に渡った歩行者のみが対象となり、二人目以降は罰金の対象になりません。

制定から数日経過し、実際の効果ですが、小職が見る限り状況は変わっていません。信号待ちの歩行者を見ていると、まずは「警察がいないか」を注視し、次に「車がきていないか」となり、信号機を注視する人は極めて少ない状態です。

「赤信号だけどういつ渡る？」「今でしょ！！」という習慣はなかなか抜けない様です。

佐藤 孝太郎

ユジノサハリンスク駐在員事務所



サハリン代表者たちの献花



公園広場での歌と踊り

ロシアの祝日 「戦勝記念日 (5月9日)」

日本にG.Wがある様に、5月はロシアも連休が続きました。5月1日が「勤労の日」で祝日となり、2, 3, 4, 5日と5連休でした。5日は祝日ではありませんが「パスハの日 (復活祭)」として前日から賑やかでした。私が住んでいる普段は閑静な住宅街でもこの日ばかりは夜中までロシア人の笑い声が絶えませんでした。

5月9日 (この日から後半の4連休)、ユジノサハリンスク市の「栄光の広場 (無名戦士の墓)」で「対ドイツ戦勝記念行事」がありました。軍人を讃える祝日で、徴兵制度があるロシアでは軍隊は馴染みのあるもので実家に戻って、家族と一緒に過ごすのが慣わしです。

この日は午前 11:00 頃からロシア連邦機関、サハリン州、ユジノサハリンスク市の代表者の祝辞と軍事パレードが行われ、悪天候にも関わらず 5,000 人の一般客が参加し、持参した花束をお墓に捧げていました。その後、映画館前の広場や公園のステージで午後 10:00 まで楽団演奏や歌と踊りが披露され、恒例の花火が多数打ち上げられました。この日ばかりは少ない祝日のロシア (ロシアの祝日は年間 12 日間。日本は 18 日間) とは言え、3月8日の「国際婦人デー」と並んで、前日から翌朝まで夜通し、盛り上がりを見せていました。

三上 訓人